

第1章／電力所と環境との関わり

山間部にある水力発電所で発電された電気は、輸送ロスが少ない高い電圧で送電線を経由してお客さまの近くの変電所まで送られます。変電所に届いた電気は低い電圧に下げられ、配電線でお客さまへ届けられます。

電力所は、当社電気設備のうち、水力・変電・送電設備を管理する事業所であり、事業活動における電力所と環境との関わりを図示すると以下ようになります。

ダム・水路

【廃棄物発生】

水力発電所の取水堰などに河川の流木などが堆積します。

----- [P10「流木の有効活用」へ](#)



水力発電所

【省資源】

水力発電は、水の力で電気をつくる貴重な純国産エネルギーであり、発電時CO₂が発生しないなど環境面で優れた発電方式です。

----- [P11「国産エネルギーの有効活用」へ](#)

【河川汚染リスク】

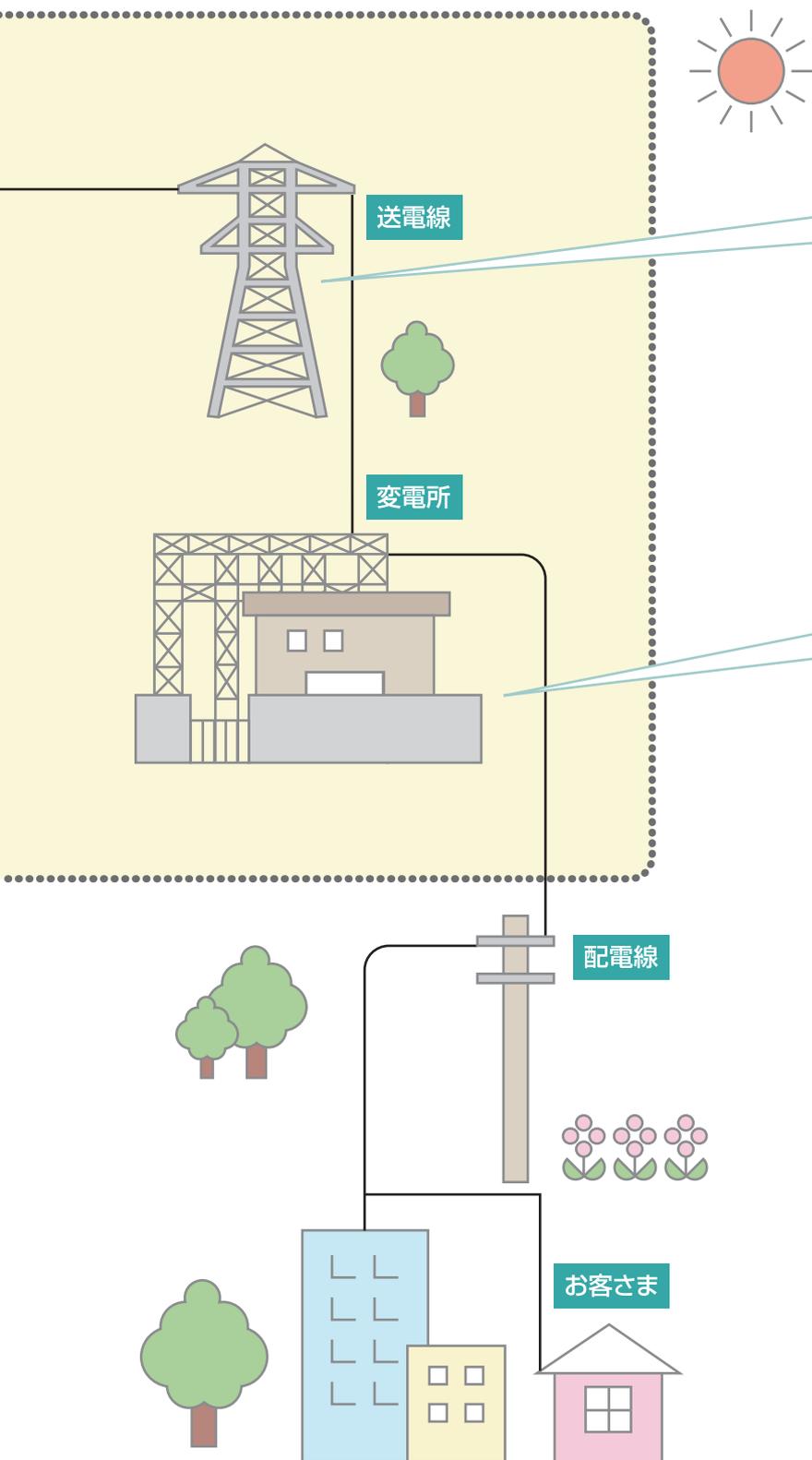
水力発電所の油圧機器の油が河川に流出する恐れがあります。

----- [P10「水力発電所油レス化の推進」へ](#)



電力所管轄範囲





送電線

【景観変化】

山間部の鉄塔建設には森林の一部伐採を伴います。

..... [P11「送電鉄塔の環境調和」へ](#)



変電所

【大気汚染リスク】

変圧器の防音材などには、健康障害を引き起こす恐れのある石綿が含まれているものがあります。

..... [P11「石綿除去の推進」へ](#)

ガス絶縁開閉器の内部には、地球温暖化に影響があるSF₆ガスが使用されています。

..... [P11「温室効果ガスの回収徹底」へ](#)

その他(事務所内活動)

..... [P8・12・13へ](#)

【エネルギー消費】

・事務所内の活動で電力を消費します。

【資源消費】

・事務所内の活動で紙を消費します。

【廃棄物発生】

・事務所内の活動でゴミが発生します。